

## 手足口病が流行しています

手足口病については、感染症発生動向調査に基づき、定点医療機関から毎週患者数の報告を受けています。このたび、令和8年第23週（6/1～6/7）において、手足口病の報告患者数が、国の警報開始基準値である定点医療機関あたり5.0人を超え、**5.27人**となりました。

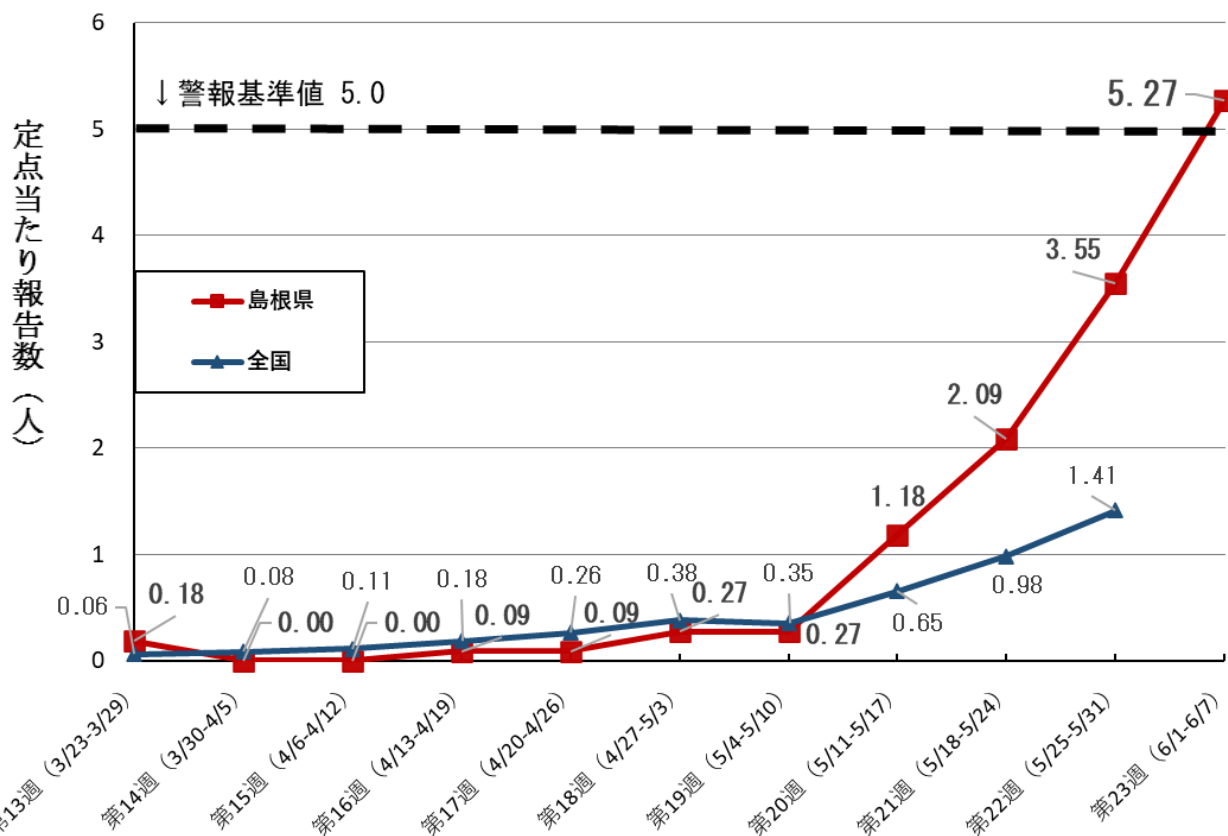
今後もさらに流行していくおそれがありますので、手洗いの徹底など感染予防の励行をお願いします。

### ○ 手足口病について

- ・ 乳幼児や小児がかかり易い感染症です。
- ・ 感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足の甲等に水疱を伴う発疹がみられ、発熱を伴うこともあります。
- ・ 患者の咳やくしゃみからの「飛沫感染」、便に排せつされたウイルスによる「糞口感染」、水疱内容物からの「接触感染」があります。
- ・ 多くは数日で自然に回復しますが、まれに、髄膜炎や脳症等の合併症を発症することがあります。

### ○ 保健所管内別の発生状況（第23週（6/1～6/7））

| 保健所管内       | 松江   | 雲南   | 出雲    | 県央   | 浜田   | 益田   | 隠岐   | 全県   |
|-------------|------|------|-------|------|------|------|------|------|
| 定点当たり報告数（人） | 3.75 | 0.00 | 19.00 | 0.00 | 3.00 | 2.00 | 0.00 | 5.27 |



### ＜県民のみなさまへ＞

- 手洗いをしっかりと行いましょう。おむつ（便）の処理は適切に行いましょう。
- 流行時には、幼稚園、保育園等集団生活でのタオル等の共用はやめましょう。
- 発熱、手や足の発疹、口腔内の水疱などの症状があった場合は、無理せずに安静に過ごし、水分と栄養をしっかりととりましょう。
- 口腔内の痛みで、食物や水分の摂取が困難な場合があります。食べられない、飲めない状態が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。